

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 2540 URL <https://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 (氏名) 井川 明 (TEL) 03-3462-8138
 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2022年7月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)
(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,716	12.4	446	119.9	640	69.0	456	68.7
2022年3月期第1四半期	2,415	2.2	202	△34.0	378	△20.0	270	△20.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	33.08	—
2022年3月期第1四半期	19.64	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	47,919	41,815	87.3
2022年3月期	48,614	42,179	86.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 41,815百万円 2022年3月期 42,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,120	6.0	440	△10.2	630	△8.0	430	△7.7	31.18
通期	10,910	3.1	1,010	1.4	1,370	0.6	1,000	5.3	72.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,500,000株	2022年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,701,562株	2022年3月期	2,708,777株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	13,791,412株	2022年3月期1Q	13,768,796株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策等により、経済社会活動は正常化に向かいつつあるものの、原材料価格の上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等の影響等から景気は依然として厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、経営理念「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」の下、事業ビジョン「すこやかでより良い時間を願う人々を応援する」に基づき、中期経営計画(2022年4月～2027年3月)において、「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」を基本戦略と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進し、収益性を確保しつつ成長投資を行い、新たな企業価値の創造に取り組んでおります。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高は「養命酒」が堅調に推移したこと及び「くらすわ」の各店舗において来客数が回復しつつあることにより2,716百万円(前年同四半期比12.4%増)、営業利益は広告宣伝費及び一部経費の先送り等により446百万円(前年同四半期比119.9%増)、経常利益は640百万円(前年同四半期比69.0%増)、四半期純利益は456百万円(前年同四半期比68.7%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

当第1四半期会計期間より新中期経営計画を策定したことに伴い、従来の「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントから、「養命酒関連事業」、「くらすわ関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、新中期経営計画に基づく組織変更により、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、前年同四半期比情報は記載しておりません。

<養命酒関連事業>

養命酒関連事業の売上は、国内「養命酒」が堅調に推移したほか、酒類・食品では「クラフトジン」、「養命酒製造クロモジのど飴」に加えて「養命酒製造の黒酢」が寄与、海外(海外「養命酒」を含む国外販売)においては、マレーシア、シンガポールにおいて「養命酒」の売上が回復傾向にあることにより、売上高は2,493百万円となりました。

国内「養命酒」につきましては、引き続き草刈正雄さんをキャラクターに、6月から新しいテレビCMや新聞等の広告を実施しました。営業活動については、卸店やドラッグストア等主要販売チャネルである小売店と協働した売り場づくりによって露出を高めたことにより、売上高は2,101百万円となりました。

酒類・食品の売上高は192百万円、海外の売上高は98百万円、不動産賃貸・太陽光発電の売上高は100百万円となりました。

<くらすわ関連事業>

くらすわ関連事業の売上は、店舗については引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、来客数が回復しつつあり、通販ではふるさと納税返礼品に採用があったほか、「五養粥」、「和養生にゅうめん」が寄与しました。また、郵便局等を通じたカタログ販売に取り組み、売上高は222百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ694百万円減少し、47,919百万円となりました。これは主に現金及び預金が270百万円、売掛金が250百万円それぞれ増加した一方で、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の減少により355百万円、長期預金が800百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ330百万円減少し、6,103百万円となりました。これは主に未払費用が184百万円、賞与引当金が138百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ363百万円減少し、41,815百万円となりました。これは主に四半期純利益456百万円の計上及び配当金554百万円の支払いにより利益剰余金が98百万円、その他有価証券評価差額金が280百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,892,696	6,163,525
売掛金	2,425,162	2,676,055
商品及び製品	427,654	388,651
仕掛品	143,031	155,369
原材料及び貯蔵品	885,429	894,547
その他	109,448	209,274
流動資産合計	9,883,422	10,487,423
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,138,352	4,101,917
その他(純額)	3,816,486	3,781,459
有形固定資産合計	7,954,839	7,883,377
無形固定資産		
投資その他の資産	142,082	140,590
投資有価証券	21,445,377	21,137,294
長期預金	6,700,000	5,900,000
その他	2,496,760	2,379,286
貸倒引当金	△8,340	△8,340
投資その他の資産合計	30,633,798	29,408,240
固定資産合計	38,730,719	37,432,207
資産合計	48,614,142	47,919,631
負債の部		
流動負債		
買掛金	122,282	182,976
未払法人税等	163,871	169,825
賞与引当金	248,411	109,812
その他	1,339,957	1,138,299
流動負債合計	1,874,521	1,600,913
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,511,657	4,454,562
固定負債合計	4,560,007	4,502,912
負債合計	6,434,529	6,103,825

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	724,666	724,666
利益剰余金	38,496,820	38,398,642
自己株式	△4,872,450	△4,857,710
株主資本合計	35,999,037	35,915,598
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,180,576	5,900,206
評価・換算差額等合計	6,180,576	5,900,206
純資産合計	42,179,613	41,815,805
負債純資産合計	48,614,142	47,919,631

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,415,997	2,716,120
売上原価	888,539	986,697
売上総利益	1,527,458	1,729,423
販売費及び一般管理費	1,324,573	1,283,342
営業利益	202,884	446,080
営業外収益		
受取利息	12,342	12,385
受取配当金	155,580	177,066
その他	12,724	9,943
営業外収益合計	180,647	199,395
営業外費用		
支払利息	4,490	5,152
その他	66	34
営業外費用合計	4,556	5,186
経常利益	378,975	640,289
特別損失		
固定資産除却損	1,920	2,304
特別損失合計	1,920	2,304
税引前四半期純利益	377,055	637,984
法人税、住民税及び事業税	78,000	182,000
法人税等調整額	28,626	△296
法人税等合計	106,626	181,703
四半期純利益	270,428	456,281

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

当社は、「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	養命酒 関連事業	くらすわ 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,424,295	222,747	2,647,043	—	2,647,043
その他の収益	69,077	—	69,077	—	69,077
外部顧客への売上高	2,493,372	222,747	2,716,120	—	2,716,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,493,372	222,747	2,716,120	—	2,716,120
セグメント利益又は損失(△)	852,078	△60,097	791,980	△345,900	446,080

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345,900千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2023年に創立100周年を迎えるにあたり基本戦略を「次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立」と定め、「養命酒」及び酒類・食品の卸売販売を中心とする既存事業の収益力強化(深化)と、これまで取り組んできた「くらすわ」ブランドを中心とした新たな事業基盤の構築(探索)を同時に行う「両利きの経営」を推進する中期経営計画(2022年4月～2027年3月)を策定しました。これに伴い、当第1四半期会計期間において、報告セグメントを従来の「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントから、「養命酒関連事業」、「くらすわ関連事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報を当第1四半期累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、新中期経営計画に基づく組織変更により、必要な財務情報を遡って作成することが実務上困難であるため、開示しておりません。

また、前第1四半期累計期間のセグメント情報は単一の報告セグメントであることから、前第1四半期累計期間の区分方法により作成した当第1四半期累計期間のセグメント情報の記載は省略しております。